

令和 6 年度事業概況

(令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日)

特定非営利活動法人 泉 里 会

前年度と同様にコロナ感染の影響が入居者及び職員にも感染し、業務遂行に非常に多くの難題を残した。

職員が感染したときには、感染防止のため最低でも 10 日間休みを取らなければならず、これが同時期に複数の感染者が出て、人のやりくりには非常に困難を強いられた。

また、当ホームで徹底して感染防止を行っているにもかかわらず、入居者も他所で感染してくる例がほとんどで、感染拡大予防のため職員と同様 10 日間の外出禁止、部屋の入り口等をビニールで覆うなどして、感染拡大の予防に努めた。

この間、食器等はすべて、紙類使用に変え、室内の清掃、布団など寝具業社へ洗濯依頼、使い捨てエプロン、ゴム手袋、ゴミ袋等の消耗品を多量に購入しストックしなければならない状態になった。

また、米を始めすべての食材が値上りし、入居者から頂いている現在の食費では、賄いきれない状況となり、米や野菜等は地場及び近隣の農家から直接、低価格で調達を行った。

今年度、猪の鼻ホームの地盤沈下で居室を修理し、猪の鼻、館岡の両ホーム(計 20 室)に、エアコンを取付け、入居者及びショートステイ利用者により過ごしやすいような環境改善を行った。

入居者のうち、3 名ほど病気の為、入退院をし、また 1 名が退去し常時 14 名の満室になることはなかった。

ショートステイ利用者もコロナ、インフルエンザ等の影響で、利用を取りやめた人もおり、設備投資はしたものの、利用が増えるまでにはいかなかった。

また下記の 2 つの事業も休止した。

自立生活援助は利用者がいなくなった為、4 月 1 日に休止をし、支援ねっともとしは、ケアホームめぐみの職員人数が足らず、8 月 15 日に休止した。

夜勤専門員の労働時間を 12 月より今まで(6 時間労働)より、仮眠時間を入れて 3 時間延長した。

前述したようにコロナ感染、インフルエンザ感染等で業務に支障をきたさないように、人員確保が優先され、休日出勤や残業で補うしか方法はなく、出勤すれば休みを与えなければならない等、すべては人件費の増加に繋がった。

今年度、支援員 1 人(4 月)世話人 2 人(9 月と 3 月)に退職をし、夜間専門員の高齢化に伴い 1 人(11 月)に採用した。

現在求人募集はかけているのだが、福祉業界には応募者が少ないのが現実であり、中々当社に応募してくる者は皆無に近い。人員確保が急務である。